

そのほかの 買い物支援サービス

① 乗合タクシー/あいのりくん

利用者登録した方からの電話予約を受け、自宅等から目的地まで乗合で利用する公共交通機関です。セダン型のタクシーで、車両の側面に「乗合タクシー(あいのりくん)」と表示しています。

ご利用時は他のお客様と乗合の「予約制」で料金は 300 円です。ご自身で乗り降りや荷物の積み下ろしができる方がご利用できます。事前に利用者登録が必要です。

帰宅する際に再度乗合タクシーをご利用する場合は、往路とは別に予約をする必要があります。

運行日: 毎日(12月29日から1月3日を除く)

運行時間: 平日は午前8時～午後6時迄、

土日祝日は午前9時～午後6時迄

問山武市役所企画政策課 ☎ 0475-80-1131
予予約センター ☎ 0475-80-2222

② お買物たすけ隊(商工会)

食料品や日用雑貨、衣料品等の配達サービスです。外出困難者の買い物や生活上で不便なことを助けたいという思いから、商工会会員の有志で組織されました。

ご利用できる方は、高齢者や、病気、ケガなどの理由で一時的に外出困難な方になります。お買物たすけ隊加盟店で 500 円以上の購入もしくはサービスを利用すると、配達が無料になります。また、配達を希望する場合は、1回の配達で済むように、まとめて注文してください。また、配達を希望する場合は、1回の配達で済むように、まとめて注文してください。付き添いで買い物は行っていません。

加盟店は、「生活便利帳」という冊子に掲載されています。配達日、配達時間は各加盟店によって異なりますので「生活便利帳」をご確認ください。また、各加盟店の営業時間内に注文することが必要です。「生活便利帳」については以下へお問い合わせください。

問山武市商工会 ☎ 0479-86-5147
山武市社会福祉協議会 ☎ 0475-82-7102

③ 福祉輸送サービス事業(安全さん)

この事業は、市民の皆さんの相互扶助による会員制のサービスです。公共交通機関の利用が困難な方を対象に、病院や買い物などの目的で送迎する移動支援になります。目的地では用が終えるまでの間待機しています。付き添いが必要な方には、「住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス事業(安心さん)」があり、併せて利用できます。

対象者 山武市に在住されており、下記項目のいずれかに当てはまる方

1. 介護保険の「要支援」又は「要介護」認定を受けている方
2. 「身体障害者手帳」又は「療育手帳」、「精神保健福祉手帳」をお持ちの方
3. その他の内部疾患等をお持ちの方

有償運送車両

関千福第 39 号

社会福祉法人

山武市社会福祉協議会

活動中は車両に貼っています

☆運転手募集しています☆ (お問い合わせ先は、以下枠内に記載しています)

山武市内在住で、74 歳未満の方、及び第 1 種普通免許(3 年間免許停止処分なし)を持っている方。福祉有償運送運転者講習会を受講した方です。

利用には、会員登録、利用料の負担があります。ご関心のある方は、以下へご相談ください。

問山武市社会福祉協議会 〒289-1306 山武市白幡 1627 ☎ 直通 0475-80-0330(平日 8:30~17:15)

山武市市民交流 サロンだより 25号

For people who want to know about Civic Activities in Sammu City

発行: サロンだより編集部(山武市総務部市民自治支援課内)
〒289-1392 山武市殿台 296 番地

TEL : 0475-80-0151
FAX : 0475-82-2107
令和 2 年 2 月 14 日発行

◇さんむ市民活動情報ひろば No.10 買い物支援サービス

蓮沼むらづくり協議会

「地域内買い物支援サービス事業」



買物は
自分でしたいなあ



移動の
手段がないなあ

日常の買い物に不自由を感じている方を対象に、蓮沼むらづくり協議会では定期的な買い物支援サービスを計画しています。蓮沼地区は、特に高齢者の単身世帯が多いため、今後ますます需要が増えると考えられます。自分自身で買い物をすることや外出により、社会参加を促し、生き甲斐を創出することで介護予防の一助にもなります。

令和元年 12 月 15 日には、お試しとしての事業が行われました(2, 3 ページ参照)。

対象者

- (1) 蓮沼在住の 70 才以上の方
- (2) 買い物などの移動手段が無い方
- (3) 専門的な介助が必要で無い方
- (4) むらづくり協議会会長が必要と認めた方
- (5) 介護保険などの公的サービスを受けて無い方

特徴

- (1) 利用料無料
- (2) 事前に利用登録申請が必要
- (3) バス停などは設けず、各個人宅に向かい、自宅付近までお迎えする方式

「地域内買い物支援サービス事業」

については2, 3ページをみてね



詳細

蓮沼むらづくり協議会 地域内買い物支援サービス事業 いよいよ始動！

主催者に直撃インタビュー！！

1. なぜ設立しようと考えましたか

買い物に不自由をしている方のために取り組み始めました。蓮沼地区は買い物をできる場所が限られています。自分で買い物をしたくても、移動手段がなく、高齢化も進んでいるため、早めの対策が必要であると考えました。

2. 大変なこと、苦労していることは何ですか

「対象者の基準を決めること」と「利用者への情報伝達」です。「対象者の基準を決めること」については、何度も検討してきました。結果的に、今回は「ひとりで買い物ができる方で、70歳以上の方」になりました。「利用者への情報伝達」については、今後、利用者を募集するにあたり、本事業をご案内するチラシなどで、実施方法や内容が正しく伝わるように、しっかり考えて行きたいと思います。

3. どのように事業を進めていますか

とにかく行動してみようということから始めました。リスクや問題などは、たくさん考えられますが、今後問題があれば、その都度修正していくことになりました。まずは、参加人数が増えた場合に対して、ピストン輸送や地区別対応の必要性があげられます。



今回の買い物で使用した車両です

- ・今回は、「特別養護老人ホーム海」が車両を提供しました。
- ・乗降の見守りのため、運転手とは別にボランティアがひとり同乗しました。
- ・現在、自動車保険を見直しており、この事業に適した契約内容への変更を検討しています。

利用者の率直な感想

- ・「難しいと思うけど、週に1回利用できればいいな。」
- ・「自宅まで迎えに来てくれたのはありがたい。」
- ・「自分で買いたいものを見て回れてよかった。業者の配達サービスとは違う良さを感じた。」
- ・「このサービスの予約は、2日前くらいまでにできるといいな。」
- ・「今回の利用時間は、1時間でちょうどよかった。」
- ・「買い物だけではなく、みんなとおしゃべりしながら外食できるサービスがあればいいな。」
- ・「移動の車のなかで乗り合わせた人たちとのふれあいもよかった。」
- ・「独居でなくても、サービスが利用できればうれしい。」
- ・「自分も色々なボランティアをしていたが、現在受ける身になって改めてありがたい。」
- ・「このサービスを今後も続けてほしい(利用者の多くの声)。」

サロンだより編集部から一言

- ・「Man to Man」、人との繋がりを大切にしたい買い物支援サービス事業は、高齢者のひきこもりを未然に防止するためにも、とても重要だと思いました。
- ・これからは、「運転免許証を返納した人」も対象にすることが必要になってくると考えられます。
- ・今回は、スーパーマーケットとドラッグストアが隣接した、比較的蓮沼から近いエリアを買い物の場所として選定しました。今後、他の場所での買い物や外食など、利用者の多様なニーズに対応できるように、本事業の工夫、改善に努力されるものと期待が持てます。
- ・蓮沼むらづくり協議会の方々の熱意と行動力に敬意を表し、ほかの地域にとっても良い手本になるのではないかと率直な感想を持ちました。

運転手＆同乗(買い物もの支援車両) ボランティア募集

運転手と同乗ボランティアを募集しております(ボランティアとして活動するにあたって、特別な資格等は必要ありません)。また、蓮沼むらづくり協議会と山武市社会福祉協議会が主催した「福祉有償運送運転者講習」、「家事援助担い手講座」を修了された方で、ご協力くださる方大歓迎です。地域のみなさまのお力をお貸しください。

ご関心のある方は、以下へご相談ください。

問 蓮沼むらづくり協議会事務局

☎ 080-7837-3800 (携帯電話まで、ショートメールにてご連絡ください)

hasunumamura@gmail.com